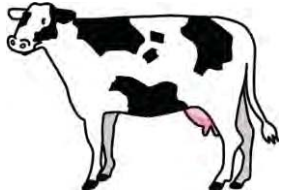


参考1 家畜ふん堆肥の特徴

【牛ふん】



肥料効果(化学性の改善)	小
土壌改良効果(物理性改善)	大
地力効果(生物性の改善)	大

○ 窒素含有率が低く、窒素:2%、リン酸2%、加里4%
窒素成分は期待できない！ ただし加里成分には注意。

○ 植物質が多いため、肥効が緩効的(緩やかに効く、
後から効く)

○ 土壌中に有機物が残りやすく、土壌改良の効果大。

【鶏ふん】



肥料効果(化学性の改善)	大
土壌改良効果(物理性改善)	小
地力効果(生物性の改善)	小

○ 窒素含有率が高く、植物質が少ないため、分解
が速く肥効が速効性。

○ 窒素含有率は、発酵度合いによって異なる。

○ 土壌中に有機物があまり残らないため土壌改良
効果は低く、化学肥料に近い。

○ リン酸と石灰を多く含む。

参考2 その他土作りに有効な有機質肥料

○ もみがら 成分目安 0.1>

土壌中に隙間を作り、透水性、通気性を改善する。くん炭にすれば、さらに土壌の透水性、保水性が改善

○ 米ぬか 成分目安 2-4-1

リン酸を豊富に含む有機質肥料。油分を含みゆっくりと分解するため、定植3ヶ月前には施用する。固まりやすいので注意。有用微生物の餌となり増殖させる。

○ 油かす(菜種、大豆、胡麻)

成分目安 5~7-2-1

搾油した残り粕で、窒素成分主体の緩効性肥料だが、有機質肥料の中では、魚かすに比べて緩効性。

○ 魚かす 成分目安 7-5-0

魚を煮た後、水分と脂肪を搾って乾燥させたもの。窒素の分解が早く、追肥として使える。

○ バーク堆肥

樹皮を原料とし、家畜糞や尿素を加えて長期間堆積、熟成させたもので軽くて多孔質であるため、通気性・保水性改善に効果

参考3 酸性土壌を中和するのに必要な石灰量

酸度(pH)を「1」上げるには、

1 m²の面積を10cmの深さまで耕す場合
1 m²あたり石灰資材投入量

消石灰の場合は80～100g、
苦土石灰(マグカル)や有機石灰(かき殻)
の場合は100～150g

※ 耕す深さを20cmにすると、2倍の石灰が必要ですよ。

※ 石灰質肥料は、施したらなるべく早く土と混ぜましょう。雨が降ると、石灰が固まりますので、注意します。

参考 4 水田での畑作物作付けのポイント

圃場排水を確保しましょう。

- ① 溝(明渠)は、周囲に掘り、排水溝に繋げる。
- ② 道路横など周囲から流れこむところには、作付けしない
- ③ 排水口は高低差をつける。

排水溝の掘り方

角は確実に接続

額縁明渠

落水口に確実に接続

落水口は深く掘り下げる

隣接圃場・用水からの漏水や道路からの雨水の流入に対しては、不耕起地帯を作る。



排水条件が悪い圃場では高畝にし、横断溝(↓)を掘りましょう。

あとがき

このマニュアルを改訂するにあたり、大台町の生産者の皆さま、JA多気郡のご担当者様、県関係機関の皆さまに資料提供や作業の実施協力、現場でのアドバイス等、幅広くご支援、ご協力いただいたことに深く感謝を申し上げます。

本マニュアルは国の事業「新品種・新技術の確立支援事業」を活用し、本県での気象条件や土壌条件に適応した中山間地域のモデルとして、エゴマの安定栽培技術を確立するために昨年より作成をしているものです。

本年度は昨年に比べ、台風被害は少なかったものの、高温傾向が続き、その結果開花が遅れ、摘心後も草丈が非常に伸びてしまいました。

さらに夏以降は青枯病が蔓延し、収穫をあきらめざるを得なった圃場もありました。なお本病は土壌改良や有用菌投入により発病程度が軽減することが、本年度実施した実証圃により判明し、その効果について今後も検証を続けていきます。

エゴマの作付けも4年が経過し、土づくり実践の有無が単収や搾油量の差となって顕れ、土づくり重要性が改めて示された年でもありました。

こうした産地の現状と課題を踏まえて、昨年作成のマニュアルを加筆修正させていただきました。

今後も本冊子は、皆様のエゴマ栽培にご活用いただくよう、改訂により新たな知見や情報を生産者の皆様に提供していきたいと思っております。

引き続き関係者の皆様のご協力・ご支援をいただくようお願いするとともに、改めて感謝の意を表します。



参考 えごま種子生産の収支計算事例 (10a)

区分	項目	金額 (円)	備考
収入	出荷エゴマ種子収入	225,000	収量50kg/10a JA買取価格4,500円/kgで算出※
経費	エゴマ生産に必要な経費	105,000	肥料費、諸材料費、小農具費、修繕費、動力光熱費等の合計金額。 ただし、建物・車両等の減価償却費や人件費は含みません。
差し引き所得		120,000	

※ 出荷物の状態によっては、買い取り・搾油ができない場合もあります。また種子の品質や搾油量により、買い取り価格が下落することもあります。

えごま栽培マニュアル2019
令和2年3月発行
松 阪 農 林 事 務 所
松阪地域農業改良普及センター
〒515-0011 松阪市高町138
電話 0598-50-0515